

庵我福祉だより

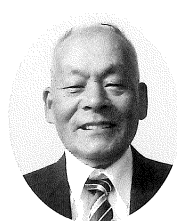
しあわせ庵我

第42号
平成31年1月
発行
庵我地区
福祉推進協議会

新しい年を迎えて

庵我地区福祉推進協議会（市議会議員）

顧問 塩見 卯太郎



▽防災・減災はみんなの願い
昨年豪雨と台風襲来で大きな被害が発生し、被災されたみなさんにお見舞い申し上げます。防災と減災対策が今までになく求められています。

庵我の地域では、昭和二十八年台風十三号の襲来から、堤防建設が熱望され、先人が智恵をあつめ、陳情を繰り返すややく完成し、喜びばれました。

ところが、平成に入つて、地球温暖化と異常気象による、相次ぐ豪雨と台風で一変しました。由良川の水位が平成二十五年台風十八号では過去最大の八・三mに、平成二十六年八月豪雨の内水氾濫で市街地では四五〇〇戸が浸水しました。平成三十年七月豪雨では内水氾濫による被害が発生しました。

被災された方々を見舞ったとき、「生まれてこの方八回の家屋浸水の被害を受けたこと」、「内

水氾濫で床上まで浸水したのは初めてだ」、「今は七月だが、この秋までに、台風が来たらかなんなあ」など切実な声をお聞きし、やりきれない思いが募りました。

私は、昨年六月議会で排水ポンプ車の配置を要望し、七月豪雨には配車されました。また、九月議会では排水機場の建設を求めました。今後、国と府、流域関係の市による由良川減災対策協議会のなかで、大規模内水対策部会を設置して検討されることになりました。

今後、国・府・市による治水対策の推進を要望するとともに、庵我地域の自主防災組織の活動で自助・共助の活動がすすむように、力を合わせていきましよう。

▽ 絆深められた庵我大運動会に参加して

秋晴れのもとで開催され、冒頭、濱公民館長が九十八回の歴史ある運動会であること、グラウンドの整備が大嶋前公民館長、小中前庵我自治会長の尽力で完成したこと紹介と謝辞がありました。競技に移り、児童の競技や組体操が繰り広げられました。また、幼児競技にはたくさんさんの幼児の参加に頼もしく思いました。福祉

山踊りや自治会対抗の綱引きなど、老若男女が参加された運動会に感激しました。準備など大変だったと思いますが、庵我がひとつになって、絆を強め、親交が深められたことは、これからも大事にしたいものだと思います。再来年の一〇〇回目の運動会が楽しみです

▽ 桃映中学校七十周年記念集會に参加して

十月二十七日記念式典に参加しました。七十年間の卒業生は一五三二四人に、昭和三十九年の全校生徒一四一八人は過去最大だったことや、七十年の歩みがDVDで紹介されました。記念公演は、福知山踊りがありました。田村踊り振興会長が福知山踊りの魅力について話されました。踊りの振り付けが十六もある難しい踊りは全国で数少ないだけでなく、脳の活性化や認知症予防に非常に効果的であることが科学的に実証され、インターネットやロコミで広がったことがきっかけでロンドンでも踊られることになったことが紹介されました。これからも大いに福知山踊りを踊って脳の活性化と、健康に過ごそうと思いました。



あいさつで心をむすぶ

明るい庵我

地域ぐるみであいさつの輪を広げましよう

庵我学区敬老会に寄せて

庵我老人連合会会長

森下 慈 真



した。

恒例の庵我学区敬老会に
楽しく参加させていただきま

ひまわり保育園児による可愛くて一生懸命の
器楽演奏には毎日頑張つて練習している姿を想
像して、参加者から大きな拍手が出ていました。
続いて庵我つ子の元氣溢れる歌と踊りの演技を
観て頂き、学校の校歌にある歌詞の一節である
「いつも明るく希望に燃えて」を文字どおり子供
達は心に秘めて成長してくれる事だろうと頼も
しくも感激を致しました。また、公民館役員に
よる奇知に富んだ歌謡演劇は、笑いが絶えず手
作りのアトラクションは庵我敬老会に相応しく
最高の催しとなりました。

本年は明治維新以来百五十年の節目。日本人
の平均寿命も男女ともに八十歳を超えて、いよ
いよ百歳時代の到来と言われています。

全国高齢者の合言葉、それは「延ばそう健康
寿命、担おう地域づくりを」：「健康・友愛・
奉仕」の精神で与えられた自分の人生に無駄無
く日々を送りたいものと思います。高齢者は高
齢者なりに近隣・知人で声を掛け合い絆を大切
にしたいものです。

最近「自助・共助」と言う言葉を耳にします。

身の周りの事、自分で出来る事は自分でやる。ど
うしても無理な事は周りの者が手を差し出すと
言う事ではないかと思えます。

年を重ね、だんだん足腰が不自由になれば尚
更に大切な事だと思えます。私たちがこの様に
生かされている現実には、家族の協力は勿論の事、
周囲の人々の支えが有ればこそと思えます。

今年も寒い冬がやって来しました。自分が健康
で生かされている事の感謝を忘れず無駄のない
毎日を過ごしたいものと思いつつ雑感を閉じま
す。



水害

庵我児童館館長

内田 成 広



昨年七月の児童館は、五
日に乳幼児と保護者を対
象とした「子育てふれあい
教室」を開催し、七夕も近い行事のため笹に
願い事を書いた短冊を結びつけて素敵な七夕
になりますよう願つて例年どおり行事を終え
たのでした。

ただ、昨年は毎週のように大雨警報が発令
されて市内全域に災害に備え避難勧告や避
難所が設けられ、その日も例外ではありませ
んでした。

「また、今週も・・・でも大丈夫だろう。」
と事態を軽く受け止め、平成二十六年度の水
害では床上に二十cmだったため、取りあえず
三十cm以上の台の上に移動させれば万全と
思われたのですが・・・

特別警報のとおり雨は降り続き、七日は市
内の多くの道路が冠水し児童館に到着したの
は午後を過ぎてからでした。

昨日までの子ども達の声のする普段の様子
と異なり、川東公園は水から半分頭を出した
フェンスだけが公園の場所を表して、その横の
児童館は湖にある孤島のように見えました。

水が退いた翌日、玄関を開けると水害に被

災された経験のある方はお分かりいただけると思いますが特有の泥臭さと色々な物が廊下や遊戯室いっばいに散らばり、水位は前回を上回る三十cmを超える水位の跡が壁にありました。

電話や電気、ガスのライフラインが使えない状態で何処からどの様に片付けたらよいのか途方に暮れ、気が滅入る朝でした。

水に浸かったオモチャや書類家具を廃棄し、いっばいに水を含んで重くなった床ジュウタンを剥がしたりする片付け作業は職員だけでは到底できず、学校の先生方や地域の方々、他の児童館からの応援で助けていただき、何とか職員の居る場所を確保することができました。

また、「大変でしたね。暑いからこれでも飲んでがんばって下さい。」とお声かけやお見舞いを頂いたことは、作業をど



平成30年7月豪雨
庵我児童館

れほど楽にさせたことか、感謝の一言では言い表せない人の温かさを感じる経験をさせていただきました。

片付けも一段落ついて浸水を免れた二階の幼児室や学習室で開館できないかと考えたのですが、夏の暑さも相まって浸水した建物特有の臭いが施設内に溢れ、乳幼児や児童に利用してもらう環境とは呼べず、臭気の治まったと感じられる九月まで利用を控えていただきました。

水害を受けた市の施設の復旧工事は台風シーズンが終わってから着手となり、本号の配布されている頃には児童館も綺麗に復旧工事も終えて、施設内には以前と同じ様に子ども達の遊び声や貸し館として地域の方に利用されていると思われませんが、ペンをとっている今は工事期間が決まり間もなく工事着手となっております。

しあわせ庵我の下半期の号では、一昨年と同じく水害被害の寄稿となりましたが、平成の終わりとともに庵我地域の水害も終わりとなりますようお願いいたします。



平成30年7月豪雨
庵我児童館遊戯室

編集後記

「しあわせ庵我 平成三十一年一月第四十二号」の発行に際して、たくさんの方の皆様に協力いただき誠にありがとうございます。ご意見ご寄稿がありましたら、是非お寄せ下さい。元気で明るい地域作りに一層のご協力をお願いいたします。

平成三十一年一月

編集委員

- | | |
|-------|-------|
| 植村 秀明 | 内田 成広 |
| 足立 衛 | 塩見 雅邦 |
| 塩見美和子 | |



第25回 庵我ふれあい祭り

平成30年10月29日 晴天に恵まれ大いに盛り上がりました。

餅つき大会



餅つきの音がすると、早々と長蛇の列。
 “よしよ!!” の声に合わせ力いっぱいつきました。早速そのお餅が無料で配られ大好評でした。
 おかわりー!!

防災コーナー（非常食）



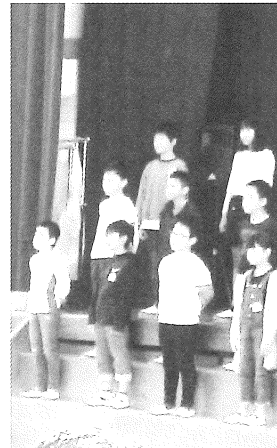
単純な作業のはずなのに思い通りにはうまくいかず、けっこう頭を使ったけど「ありがとう」と言われてうれしかったし楽しかった。

昔あそびコーナー



「僕らはあの頃ヒーローだった・庵我老人クラブ」による昔あそび。たくさん子ども達がコーナーの周りを取り囲み歓声を上げ大好評でした。

庵我小学校学習発表会



『見せるため』にはそれなりの練習がいるものです。100名からの保護者や地域の方々に見ていただくという「はりあい」で子どもたちがステップアップ!!!!

うどんコーナー



無料ポップコーン



桃映中学校吹奏楽部



アンコール!アンコール!!

農産物コーナー



恒例の人気コーナー。地元のとれたて野菜や米がずらりと並び大盛況。賑やかな声が飛び交いあっという間に売り切れました。

作品展



他にも、福引コーナー・紙芝居コーナー・フリーマーケットなど、出店されました。